

クライミングジム CELL

# Team CELL

## 海外エキシペディション

---

ヨセミテ国立公園

2010/8/28~2010/9/4



## ☆☆海外エキシペディション☆☆

日時 : 2010年8月28日(土) ~ 2010年9月4日(土)

場所 : アメリカ カリフォルニア州 ヨセミテ国立公園

メンバー : 4名

日程

日にち	時間	予定	備考
8月28日	12:00	成田空港 第1ターミナル 北ウィング4階	集合
	14:55	大韓航空 KE001 便	
8月28日	9:00	ロサンゼルス空港到着	
		ヨセミテまで移動	
8月29日		ヨセミテ内観光 チャーチボール ビショップ登攀	
8月30日		ハーフドームアプローチ確認 スワンスラブ	
8月31日		ハーフドーム 登攀組&ハイク組	
9月1日		キャンプ4 でボルダリング	
9月2日		ロサンゼルスへ移動	
9月3日	11:40	大韓航空 KE002 便	
9月4日	15:00	成田空港 到着	解散

※日時は、現地時間

【8月28日】

海外エキシペディションへの出発日。

いいお天気。

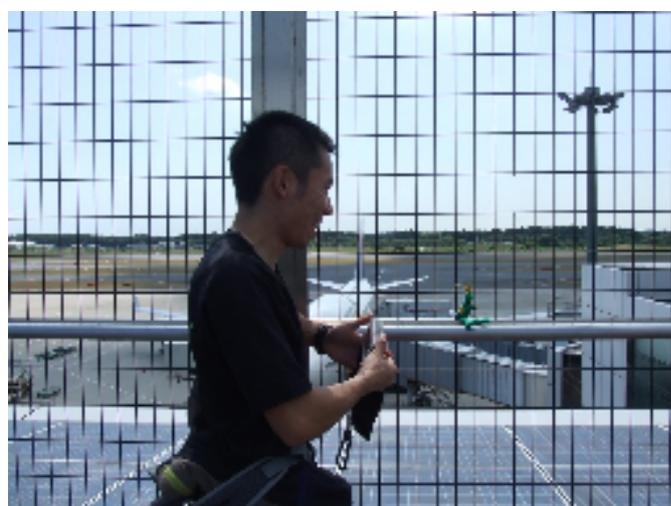
11:40 全員無事集合。

航空券を受け取り、大きな荷物を預け、お昼ご飯。

のんびりお昼を食べた後、時間が早いので、お店をのぞいたり、展望デッキへ行ったりと、ゆったりとした時間を過ごす。



(展望デッキは暑かったー。早々に引き揚げ～)



アメリカのお守り人形 をセッティングして記念撮影中～

それが、この景色～↓↓↓ (乗る大韓航空 KE001)



空港のお店で買った、  
「おたべ」を堪能中～♪  
これって。。。  
お土産用で売ってたんだけどね^^;

14:00 入国審査に  
何事もなく無事終了～  
免税店で、お酒  
(向こうで飲む用の焼酎～) & おつまみ  
と、お水を購入

14:55 出発の飛行機が、14:45 から搭乗案内。  
——案の定 10 分遅れの出発——

あと少し?! で  
到着～

このときは、まだ  
「1日1トラブル」  
が起きるとは想像もつかず。。。



機内食～  
朝ごはんに、お茶漬け～



【8月28日】

朝8:50 到着予定。

8:50に無事着陸

しかし、混雑しているらしく、9:15過ぎごろ、ようやく飛行機から降りる。  
入国審査は何も問題ないだろう、とっていたら。。

滞在先「ヨセミテ国立公園内」「カレービレッジ」伝えるも通れない。  
面倒なので、予約票を見せる。

これまたリストに載っていないらしい。

(テントキャビンだもんね、載ってないよね。。)

結局あやしくないと判断してもらったようで、通過。

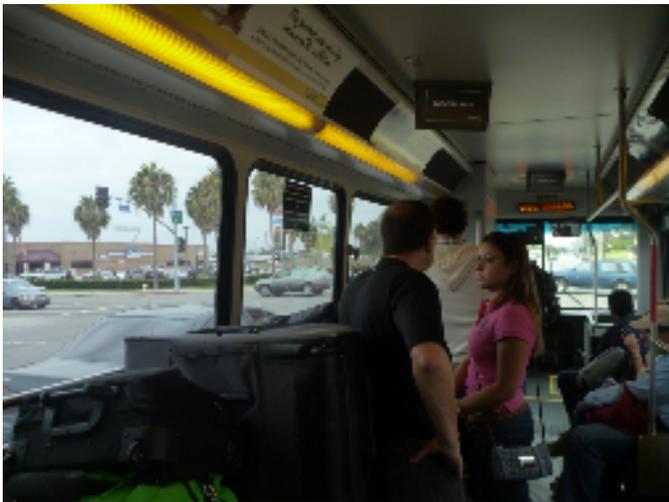
しかし…4人目は、結局カレービレッジの住所を書かされてました。

入国審査で10時をまわる。。(並んでいたものあるけどねえ。。)

荷物はすぐにわかったから、よかった♪

今度は、レンタカーの場所探し。

インフォメーションで聞いてくるも、わからない。



再度別の人に聞いて、判明。

この時教えてくれた人に、

「募金をしてくれ」と言われるが、  
「？」

が残ったので、募金はせずに(帰りにロスの空港で、募金活動は、空港とは何ら関係がありませんので。。といったアナウンスがずっと流れてた)

送迎バス乗り場へ。

ゆったりした、送迎バスだった～



背が小さいのが、おっきな荷物を持って乗り込んだら、同じお客様なのに、サッと来て、荷物置き場に荷物を置いてくれた。

スマートな振る舞い～。

日本じゃ、めったにお目にかかれ  
ない。

無事、Hertz レンタカーに到着。

並んでる～。

どのくらい時間かかるんだろう。。。。

列の並び方が1人1人の間隔がゆったりしている。

日本と違うなー

と感じる。

(日本って、かなり詰め詰めで並んでるよね？ちょっと動くと、すぐに詰めるし。間あいてると詰めるよ的な雰囲気後ろからくるし。。。)

やっと自分たちの受付の番が来た。



出発～♪

「10～15分で用意できる。用意できたら、名前を呼ぶから」

とのこと。

この時点で11時半過ぎ。

—30分ほど経過するも、呼ばれない。

おかしい。

受付をしてくれた人のところへ。

「希望の車種だとカーナビがついているものがない。カーナビのついている車種が駐車場884に止まっているから見てきてくれ。同料金でいいから」と。

(聞きに行かなかったら、いつまで放置されてたんだろう?)

予約してた意味ないじゃん。。。。

と思いながら、駐車場へ見に行く。  
グレードが1つあがってる。

「同料金で貸してくれるならいいね」

って事になり、再度契約。



景色が広大～  
トラックも大きい～



車は、ともかく大きかった。

写真だとわかりにくいかなあ。  
GMC の YUKON XL だった。  
車内は、ゆったり、革張りシート。  
177センチでも、横になって寝れる。。  
153センチなら、膝伸ばしても寝れる  
んじゃないかってぐらいゆったりして  
た。

大きいのに、運転はしやすい。左ハンドルも特に問題なく。

なんだかんだで、結局ロスを出発したのが 12:30 頃。  
ロスから、ヨセミテまで 600 マイル (960 キロ!)。  
(明るいうちの到着は無理だなあ。。。)

ロス市内は混雑していたものの、市内を通過すると、快適、快適～  
広い景色、最高でした～

途中、トイレ休憩。  
ホームセンターに駆け込む～

ホームセンターの広さにもびっくり!

1 日たって飽きなさそう～。のんびり見  
たい衝動にも駆られたが、ここは我慢

- ・長時間待たせたこと
- ・車種変更となったこと

から、値引いてくれて。  
結果予定より安く借りられる。  
時間かかったけど…  
まあ、結果オーライかな?

デニーズの駐  
車場にて





少し走って、遅めのお昼を取るため、デニーズへ。

(高速脇に、多くのお店はなく。。。見つけた時に行かないと、次はいつ巡り合えるのかわからない^^;)

この抜けるような青空、最高♪

デニーズでは、案の定(?! ) 1人前が多く。この調子でいくと、大変なことになりそうな予感。

再び走り出し。

途中ガソリンが半分をきったので、スタンドへ。

セルフなのだが、お金を入れる場所も?なので、カードで入れようとする。

—できない—



散々四苦八苦した揚句…

ガソリンスタンドに併設しているコンビニの店員に、

• No. (給油スタンドの)



• 何ドル分入れるか

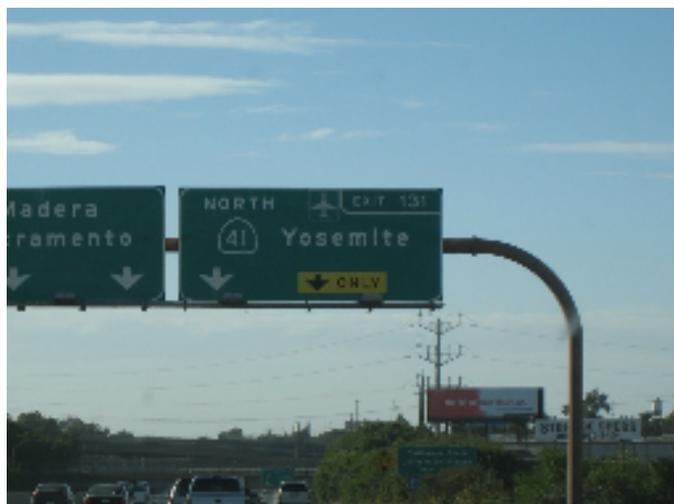
を伝え会計を済ませてからじゃないと入れられないことに気づく^^;

とりあえず、20ドル分無事給油。

20ドルで、1/4入ることが判明～

このコンビニで、アーモンドチョコを購入～

ありえない大きさにびっくり。  
食べ応えありすぎ。



ヨセミテに行く前に、夕暮れ時に。

19時過ぎに、ヨセミテ国立公園の入口までたどり着く。

車1台1週間で20ドル

この後、まだ1時間ほど走る。。

明るければ、景色を堪能できたのだろうけど

辺りはすでに真っ暗。

最後のスタンドと言われるワオナに到着も、18時までで、すでにしまってる。

(19:30頃だったかなー)

途中スタンドで補給しておいてよかった。

前に、ものすごく遅いキャンピングカーが走っているため、のんびり走行。  
余計時間がかかってしまう～  
標識とにらめっこ状態で走っていると、なにか表示が。

右レーンを走るの？  
左レーンを走るの？

よくわからず、右レーンを走って。

やっぱり左？

って途中左レーンに移動。

「カレービレッジは右折」

という標識が出てきたため、STOP 標識があるも、きちんと一時停止せずに、右折。

カレービレッジの駐車場に止める。。

と後ろからレンジャーの車が。

何だ？！

と思ったら、

- ・ 右に左にレーンを変えた事
- ・ 一時停止をきちんとしなかったこと

で、注意された。

注意ですんだからよかったけど。。  
駐車場を降りるも、辺りは真っ暗。

光がないと何も見えない。

ヘッドランプを取り出して、灯りがあるほうへ向かって歩く。

なかなかフロントの建物が見つからない。

ようやく見つけ、受付を無事済ませる。

今回のキャビン番号は 616

駐車場・施設・キャビンの場所を教えてもらい、その地図をもらって移動。

あまりの暗さに、ヘッドランプで、足元を注意して歩くだけで精いっぱい。  
空を見上げるゆとりもない。

(見上げれば、すごくきれいな星空だったんだけどね)

無事 616 にたどり着き、キャビンに入る。



思っていた以上に良い。

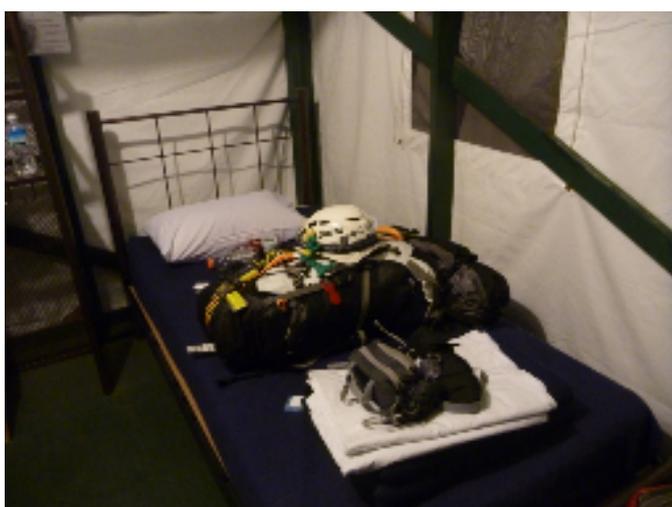
1人1つベッドはあるし、通路もちやんと確保されてる。

天井は迫っていないし。部屋も明るい。

キャビン内は、こんな感じ。

臭いなども全くなく、

- ・バスタオル
- ・プラスチックの使い捨てコップ



共に人数分あり、毎日補給してくれました。

キャビン外には、クマよけのフードボックスがあつて。

この日は、すでに 22 時を回っていたので、買ってあつたおつまみを軽くつまんで、お夕飯。

食べ物など香りの強い物を総てフードボックスへ入れて、寝ることに。

【8月29日】

8時過ぎ起床

前日の疲れから、ゆっくり寝すぎた感。。

キャビンの外へ出る…

大きな松林に囲まれてる～。

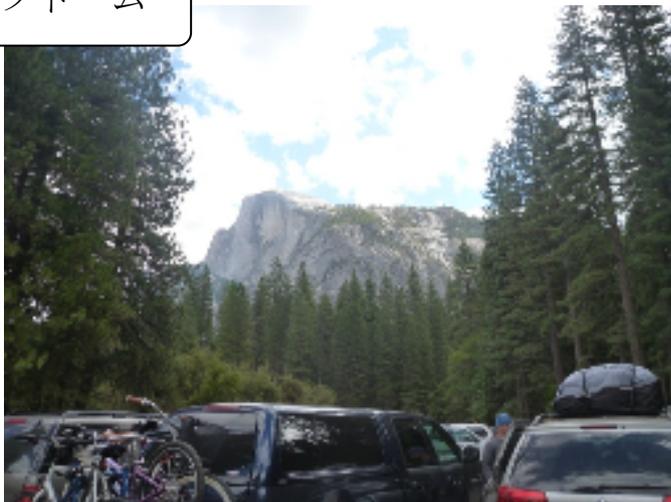
昨日は真っ暗で何もわからない状態だったから、目隠しで連れてこられた感じ。

リスがすぐ近くで、なにか食べたり、探し物(?)してたり。かわいい♪

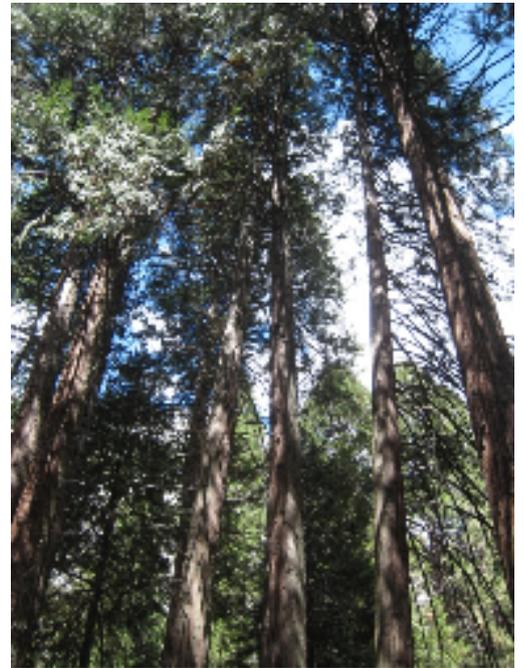


朝ごはんを食べに、お店へ向かう。  
途中、駐車場を横切った時に。。。！！  
ハーフドームなどなどが見えたっ！！

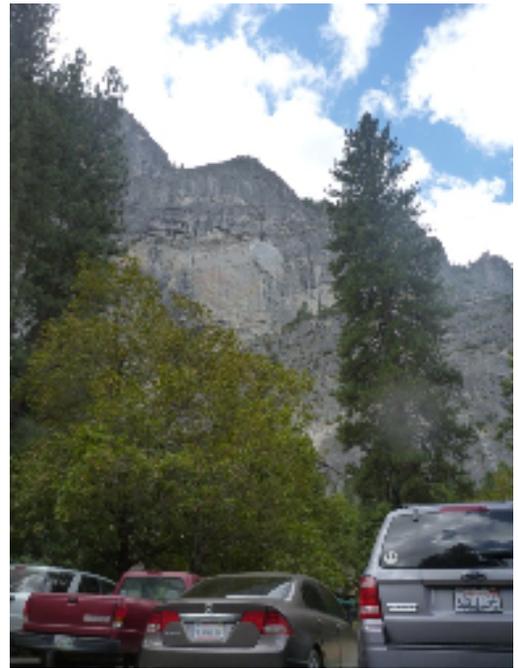
ハーフドーム



ものすごい景色。涙が出てきそうぐらいに感激。  
写真で伝えられないのが残念！最高の景色です♪



のんびりしてたら、すぐに9時半近くになってしまっ。。



ビュッフェ形式はすでにクローズ時間。  
併設されている、コーヒー・アイス（！）ショップへ。  
各々飲み物と、パン（デニッシュとマフィンなどがあったよ。）を購入。  
アイスを買おうとしたら、アイスは11時からだつて。

残念！

また次の機会に～

パンも大きい、こちらの飲み物サイズは大きい。  
スモールサイズでも日本のLサイズぐらいはある。  
水分をたくさん摂りたいから、このサイズはありがたい。  
もちろんラージサイズで♪

（このため、車内の缶ホルダーもビックサイズ。1リットルのペットボトルが  
ちゃんとおけるのにビックリ）

当たり前だけど、何もかもがアメリカサイズ。  
イスというか、ソファも、大きくて、沈み込んでしまう。  
うっかり深く座って寄りかかっていると、起き上がるのが大変～

軽い朝食を済ませて、ヨセミテビレッジのスーパーへ。

カレービレッジは、コンビニのちょっと大きい版って感じのスーパーだけど、  
こっちは、店も大きく、品ぞろえもしっかりしてる。

ここで食糧や、お水などを購入。

大きな  
松ぼっくり！

隣のスポーツショップをのぞくも、  
こちらは、自転車のものが多かったみたい。

カレービレッジのマウンテンショップは、クライミングに必要な道具なども揃っていて良かった～。

（シューズが品薄だったのが残念！）



ヨセミテ国立公園内を観光。

キャンプ4へ

「ミッドナイトライトニング」  
という有名なボルダリング課題があるところへ♪  
そこへ向かう途中、大きな松ぼっくり発見！

これが、ミッドナイトライトニングのある岩。

右下のほうに、水色が見えますが、これが人の大きさ。(153 cm)

有名なマーク



ミッドナイトライトニングの  
ある岩。大きい！



最初、ミッドナイトライトニングと思って触ってみた課題が、実は違って  
4段課題を触っていた^^；  
後に本で確認して、違うことが判明～



4段課題



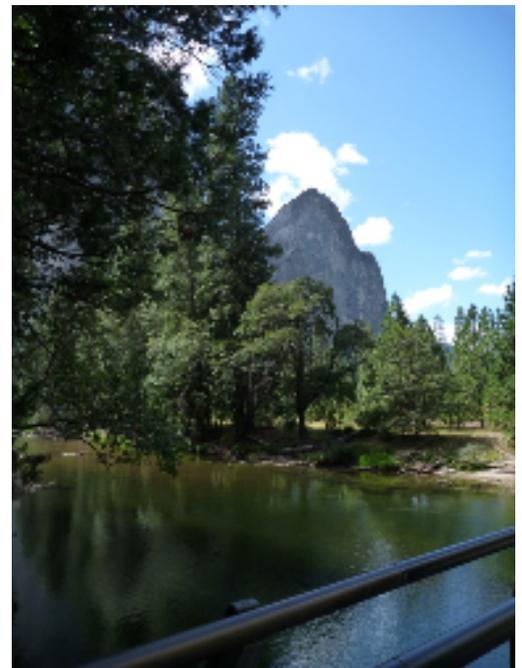
飛び降りる高さ？

こちらが攀った後に降りてくるほう。結構な高  
さがあるって、飛び降りるにはマットと補助が必要なぐらい。。

再びドライブ。

見どころの場所の近くには必ず駐車スペースがあるので、そこで車を止めて、景色を堪能～（すべて見どころなぐらい、どこも景色がいいけど）

エルキャピタン  
攀っちゃおう？！



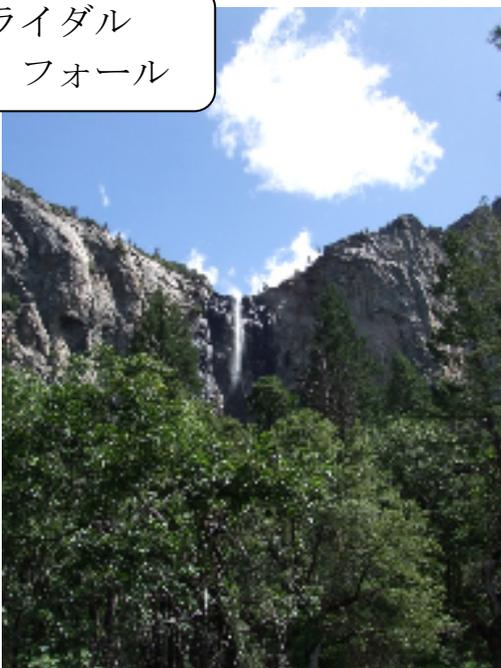
ブライダルフォール

（ブライダルヴェールフォール：

花嫁のベールに見えることから命名され  
たらしい）も見えたし。

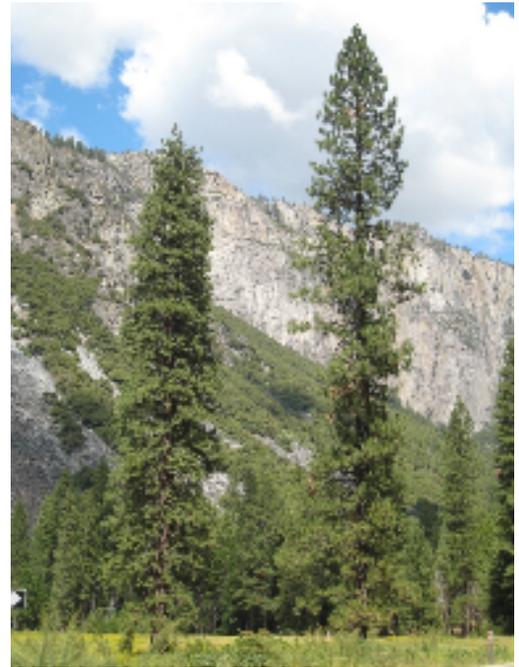
エルキャピタンも見えた～

ブライダル  
フォール



どこを見ても、本当に素晴らしい景色。心が  
洗われます。





一周回って、トイレ休憩に。  
そばで、ハーケンを打っているよう  
な音がする。

攀っている人を発見！

(そうそう、公衆トイレ、汲み取り式なのに。。。全然臭いがしないのです。  
どれだけ強い薬剤を使っているんだろう。。。)

どうやら、ローヤルアーチ付近らしい。

「ここで攀ろう」

攀り場所を求めてウロウロ～

クライマーに出会って聞くと、どうやら、その近くに良いルートがあるらしい。

「チャーチボール」エリア の

ビショップ

ビショップ  
リード中

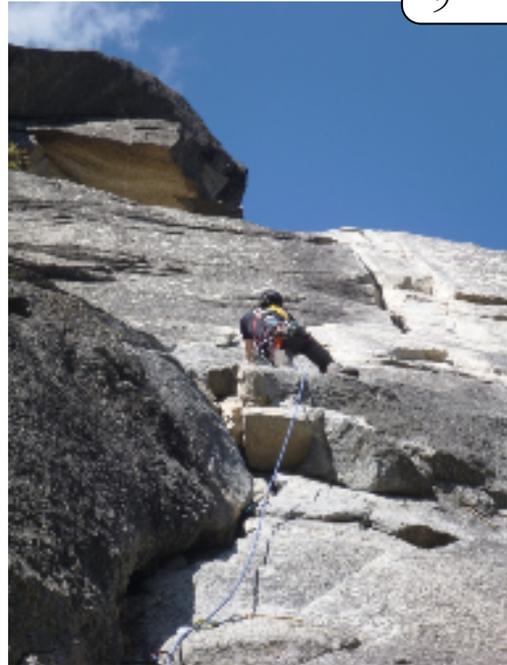
5.6 と 5.8 が 2 つ。の 3 ピッチ。  
時間も時間なので、

「5.8 の 1 ピッチだけだね」

なんて話していた。

5.6 を 攀 っ て、そこ から スタート。

クラックが 続い て ます～



(体感 5.6 以上～)

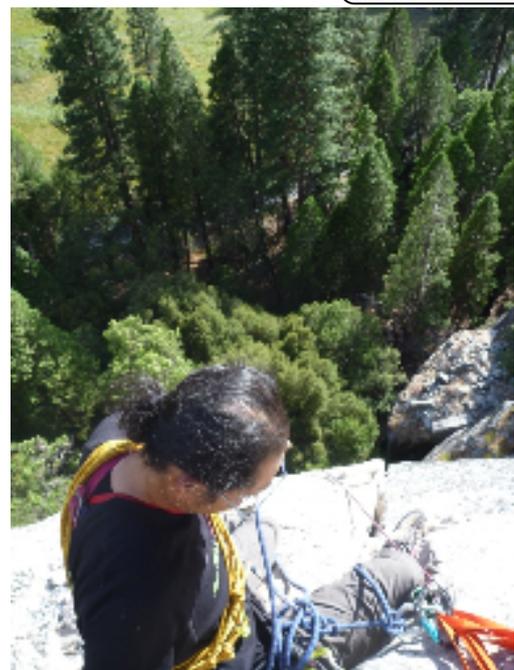
1 ピッチのはずが、終了点を確保できる場  
所がなく、結局 2 ピッチ。

50～55m ぐら いの 距離。

攀 っ た 上 の 景 色、こ れ ま た 最 高 ～♪

すごい 高 度 感 ～

上 からの 景 色 も 最 高 ～



全 員 攀 っ て、懸 垂 下 降 で 降 り る。

1人懸垂下降の最後のほうで、木の根に足をもっていかれバランスを崩し、落下…！

ロープから手を離さなかったのが、不幸中の幸いだったようだ…

頭部裂傷、臀部打撲。

頭から流血していたので、ハーネスなど、総てはずし、靴を履き替える。看護師が降りてくるのを待つ。

傷の大きさなどを確認してもらい、応急処置してもらう。髪の毛で、傷口を縫い合わせてもらう。

その後、すぐにメディカルセンターに。

結果、4針ホチキス止め。

抗生剤の薬をもらうでもなく、ガーゼを当てるでもなく、そのまま終了。

カレービレッジに戻り、すでに19時を回っていたので、お夕飯に。

ピザを食べることになった。

食べれるだろう～ということで、ラージサイズを2枚注文。



この大きさを  
2枚も…！！

大きかった。半端ない大きさ。  
完食はしたけれど。。。明らかに食  
べ過ぎ～

満腹になって、キャビンへ戻る。  
あれ？鍵が開かない。

「鍵を交換したから、フロントまで来てくれ」

のメモが。

フロントに行って、新しい鍵をもらってくる。

開かない…

再度フロントへ。。

今度は、マスターキーを持った人が一緒に戻ってくる。

マスターキーでは無事開いた。が、スペアキーでは開かない。。

「翌朝起きたらフロントへ来てくれ、鍵を渡すから」

ということに。

2度も足を運ばせたこと（往復10分以上はかかるのです。。）から、  
ビュッフェの無料券をもらう。

明日の朝食は、これに決まりだね～

ということに。

少しゆっくりしてから、

明日は7時に起きて、8時に朝食に行くことにして、

眠りに入る。。

【8月30日】

朝7時に目覚ましをかけるも、みんなその前に起床～

「起きたらフロントへ」

といわれていたので、ダメもとでフロントへ

鍵がなければ、全員で出かけることができないし。。。

案の定（?!）鍵はまだできていない。

「8:30には鍵ができる」

ということで、後ほどフロントへ足を運ぶことに。

フロントに行っている間、見回りに行っているスタッフに連絡が入って

「出かけるなら鍵かけるよ」

とキャビンに来てくれたらしい。

8時に朝食に出かける旨を伝えると、

「8時にまた来るよ」

とのこと

マメな対応がありがたかった。

8時にスタッフが来てくれて、鍵をかけてもらい朝食へ。。。

しかし…

チケットをキャビンに忘れてしまう…！

フロントから車に乗せてもらってキャビンへ。

チケットを取り、フロントまで車で送ってもらう。

（大変申し訳ない）

このときの会話で、スタッフが「攀るの？」とジャミングの仕草。  
ヨセミテでは、クラックがメインだから、クライミングのジェスチャーがジャミングになるんだー、日本とは違うなー、なんて思ったり。

朝食券を持って、ビュッフェへ。

野菜が皆無と言っていいほど、ない。。

朝ごはん～



ビュッフェ内の様子～



しっかり朝ごはんを食べて、フロントで鍵ももらって。  
今度はちゃんと鍵が開きました。

翌日行くハーブドームのアプローチを下見に。

案の定（?!）ちょっとさまよい、無事駐車場を発見。

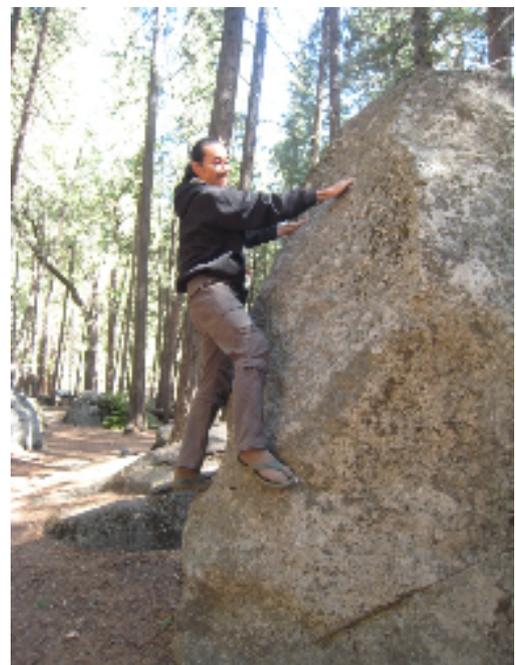
カレービレッジの駐車場から、近かった。。

駐車場から、ミストトレイルの入口まで歩いてみる。

途中、日本なら重宝されそうな岩があちこちに…！！

岩と戯れながら歩いているから、10分で着く予定のところ20分。

入口も無事わかったし、帰り道で、少しペ



ースを見る。



明日はハーフドームで、早朝出発だから、

「軽く攀ろう」

と、キャンプ4へ。

キャンプ4から徒歩10～20分ぐらいのところに、攀るエリアがあるらしい。

しかし…

ループトレイルから上に行く道が見つからず、他のエリアに到着。

スワンスラブ

リード中～



ヨセミテロッジから徒歩1分のエリア。  
近いだけあって人が多い。

攀りたいところには、常に人がいる。

簡単なところで戯れてみる。

15時過ぎ、遅めのお昼を。

持ってきていた食糧で、サンドイッチを作る。

ピーナッツバター サンド と レタス&ハム&チーズ サンド

外で食べるサンドイッチはまた格別♪

作っている最中、リスがチョコチョコ狙ってました。

明日は

男性陣：スネークダイクルート

女性陣：一般ルート

頂上で落ち合うことに決定。

明日が早いので、早々にキャビンへ戻る。

お夕飯は、朝食べたビュッフェへ。夜は野菜がたっぷりあった～

しっかり食べて（毎回しっかり食べ過ぎ?!）、明日は4時起きのため、早々に眠る。

夕陽のあたる  
ハーフドーム



やっと朝日が。

【8月31日】

朝4時起床

5時に駐車場出発。

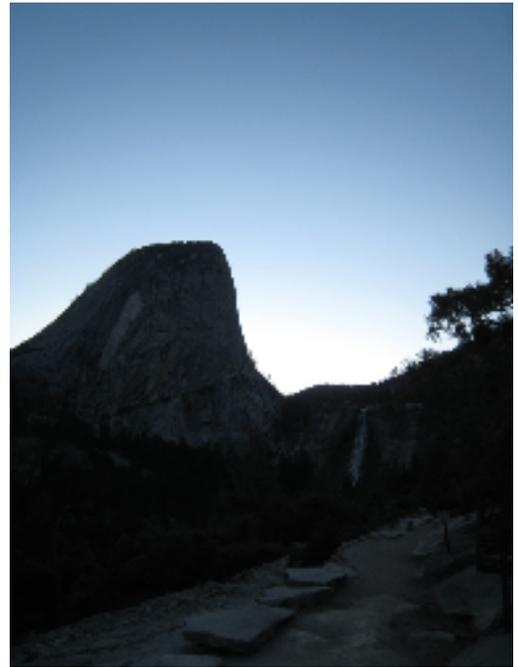
駐車場で1組のカップルが先に歩いて行く。

歩くペースがとても速い。

あっという間に姿が見えなくなる。

まずはヘッドランプをつけての登山。

周りの景色は何も見えず。星空がきれい。流れ星も見えた♪



バーナルフォール  
ルへ向かう道

バーナルフォールに到着。



地図を確認して、歩を進める。

登ったのに、まだ下るの～。。



左写真の橋からの眺め



リバティーキャップ  
壁にタッチ！

ここで、登攀組と、一般ルート組、しばしの別れ～

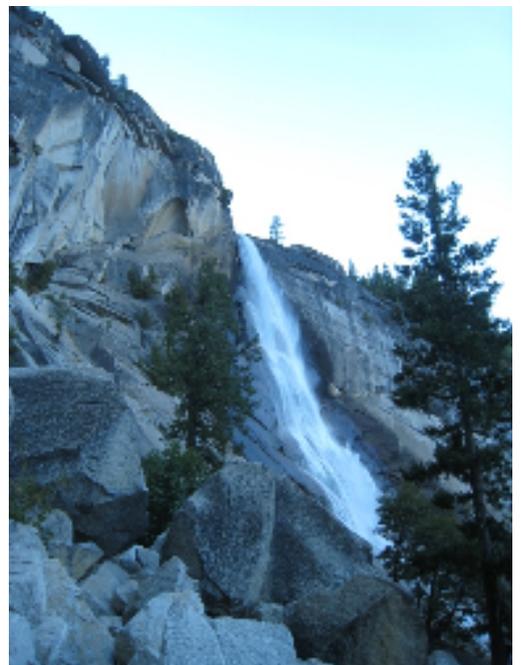
ネバダフォール

一般ルート組

いきなり、急な九十九折りが続く。。  
ネバダフォールの豪快な滝の脇を、ゆっくりと歩を進める。

登頂できるのだろうか。。

と不安がよぎったころ、急な九十九折りが終わり、なだらかな道に



一安心。

「50分歩いたら10分休む」

これを目標に、ひたすら歩く。

途中、川沿いの道。朝日が川に差し込んで、湯気が上がって、見ごとな景色。

朝しか見れない景色に遭遇で、元気をもらう♪

時折、ビレッジで見たリスと、シマリスにも遭遇。

ビレッジで見たリスよりも体がしまってる～  
(ビレッジで食べ物もらい過ぎなんだね)

急な坂道では、歩幅を狭くして歩いて。。  
(他の人が歩いているのを見て覚える)

景色がとても綺麗。



最後には、「もう Hello は言わないよ～。  
頑張れ」と声かけてもらう。

そんな声かけが嬉しい。

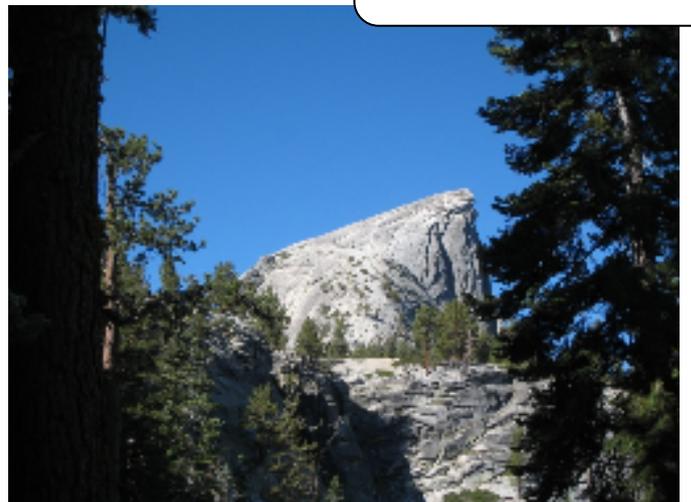
人との関わりが元気の源となる。



出会う人たちと「Hi♪」「Hello♪」  
のあいさつを交わすのも楽しい。

お互い休憩を取るから、何回か同じ  
人とすれ違う。

目指すはあそこ。  
まだ先は長い?!



途中開けて、  
こんな景色も♪

急な坂道で疲れると、なだらかな道が出てきてくれる。

また疲れが取れた頃、急な坂道が出てくる。

この繰り返し。

途中、広場のようになって、分岐が出てくる。

踏み跡が分かりにくい…

(これが帰り鬼門に。登山経験&知識不足なため、振り返って景色を確認する、ということが分からなかった…反省)



「危険。雨の後や風が強いと足元が滑って、死ぬ」

のような立て看板。

そこを過ぎたら、急な石段。

確かに踏み外したら最後。

すれ違いも、ちょっと広い所で、譲り合い。

(この午前中で、帰り道って、朝何時から登り始めたのだろう?)

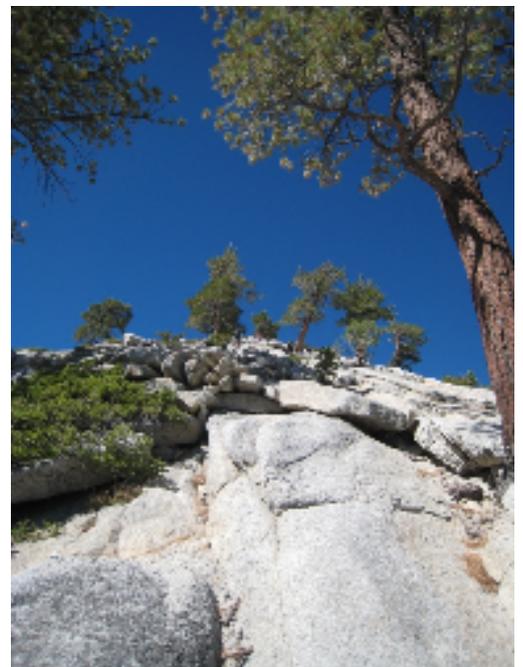
途中、すれ違った人が、

「後5分だよ。」

って教えてくれた。

遅いペースで登っているから、後10分だろう、と予測が立つ。

とってもありがたかった。



無事石段が終わる。広い場所に出るが。。

先を見て絶句。

ワイヤー梯子があって、それを伝って登るって聞いてたけど。。

ものすごく急。

距離も長い。

昨日登った 50m なんかじゃきかない。

半端ない長さ。

でも、ここを登り終われば、頂上。

最後の核心。

手袋をして、覚悟を決める。

今まで登っていたところが、フリクションがよくきいていたから、

と安心していたら…

とんでもない！

フリクションがきかない。滑る。

ワイヤーから手が離れたら、最後だ。

途中パンプしてくる。

レストを入れながら、すれ違いもドキドキ。

片方のワイヤーにしがみついてしまう。

やっとのことで、ワイヤー梯子が終わる。

終わったところで、何回かすれ違ったおじさんが、座っていた。

梯子が見えにくいけど…  
ここの斜面総てワイヤー梯子  
で登るのです。



「よく頑張ったね！頂上の景色最高だよ！」

と握手してくれた。嬉しかった～。疲れも軽減するね♪

無事、11：30 ハーフドーム登頂♪

所要時間 6時間半

登山経験のない二人にしたら、  
快挙♪快挙♪



その頃、登攀組は。。。  
攀っている最中かなーなんて思っていたら、藪こぎ中だったらしい。

登攀組



途中大きな松ぼっくりを見つけたりしながら歩いて行くと、コルから開け、そろそろロストレイクか、というところで、3人組がビバークしていた。

リバティーキャップで別れてから、他の人のホームページに書いてあるように、リバティーキャップの壁に沿って順調に歩を進める。

特大！  
松ぼっくり



「こいつらより先に行って、サクって攀ってこよう」

と思うが、ロストレイクが見つからず。  
——さまよい始める——

どこをどう歩いても、ケルンがあちらこちらに。

踏み跡らしき跡をたどるも、次第に藪こぎに。

樹林帯に突っ込んでしまっている。

——気付く——

すでにロストレイクは、完璧に過ぎ去ってる。

ハーフドームの南西壁に行くべきところを、南東壁に向かっている…！

今までのケルンや目印は…  
道を見失った人たちの目印だったのではないか。。

今来た道に戻りつつ、  
ハーフドームの基部をトラバース。  
南西壁方面に向かう。

やっと、顕著なケルンがたくさん見えてきた。

半信半疑で、そこをトレースすると、ようやくスネークダイクの取りつきに到着。



取りつきにて  
登攀準備中～

なんと、核心のアプローチで7時間半も経過していた。。

すでに先行パーティーが数珠つなぎ。

7時間半も、重い荷物を背負って歩いてきたため、既に1本攀り終えたような気分。

とりつきで、更に1時間待たされる。

取りつきから見上げると…圧巻！！



取りつきもかなりの高さ。



《 スネークダイク 5.7R 》

● 1ピッチ目 5.7 (体感 5.9～.10) 60m

13:30 取りつき

3つ並んでるクラックの右から3つ目が正規ルート。

5.7なので、楽勝を決め込み…

頭上の小ハングの切れ目を目指して左上するスラブを登るのがルート。

しかし、フリクションが非常に悪く、とても5.7のスラブとは思えない。

15～6mほどノーピンで攀る。

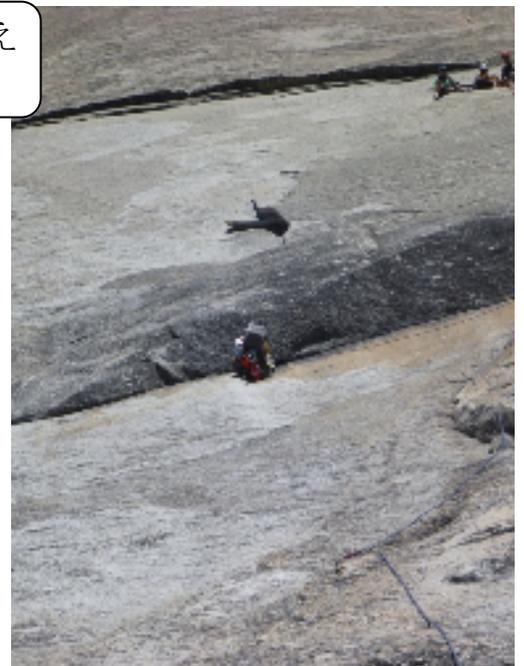
ハング越え  
が大変！

ここでクラックが切れる。

クラックがなくなる寸前にカムを決めようとする。

決まるところがない。

ここまで攀りきらずに、まずクラックを直上したら、ハング下のフィンガーサイズのクラックにカムを決める。



ハングを乗り越すことも、トラバースもできない。

4～5mクライムダウン。

フリクションのきかないスラブ。

マントリングと足の誤魔化しで (!) 左上する。

7～8m 攀ったところで、先ほどのハングの出口に近付く。

ハング出口で、カムを1つ決める。

ほっと一安心。

ハングをのり越し、右上するフィンガークラックに入る。

20mほどの距離を、途中カムを1つ2つ決める。

1ピッチ目終了。

終了点のハンガーがしっかり打ってある。

前のパーティ待ち…上着を着ないと寒くなるほど&靴脱ぐほどの長い待ち時間…

ここでも30分ほど順番待ち。

●2ピッチ目 5.5 40m

右トラバース8m程度。

(右真横にトラバース)

小ハングとフレークのところでカムを決める。



ハングを乗り越して、フィンガークラックを直上。

5～6mすると初めてボルトが1本出てきた。

ホッと一安心。

終了点に近づくも…

先行パーティーが動かず。

かろうじてセルフビレーだけ取って、待つこと小1時間。

(直前先行パーティーが6人。3人1組で。しかもリードする人が代わるため  
&マルチピッチデビューの人が4人で、登攀スピードもさることながら、何  
をするにも時間がかかりすぎる。)

●3 ピッチ目 5.4 (体感 5.5) 55m

15mほどスラブを左上。  
やはりフリクションがきかない。  
とても怖い。  
途中ボルトが1本あった。  
そこでちょっと安心。  
ただ…  
このボルト前後が悪い。

やっとスネークダイクに入る。  
スネークダイク沿いに直上。  
軽快に攀る。

再び途中ボルト1つ。  
(合計ボルト2本)

終了点。  
ここも、しっかりしたボルトが2つ。  
再び30分ほどの休憩。。

●4 ピッチ目 5.4 60m

スネークダイク沿いに攀っていく。  
すごく気持ちよい。

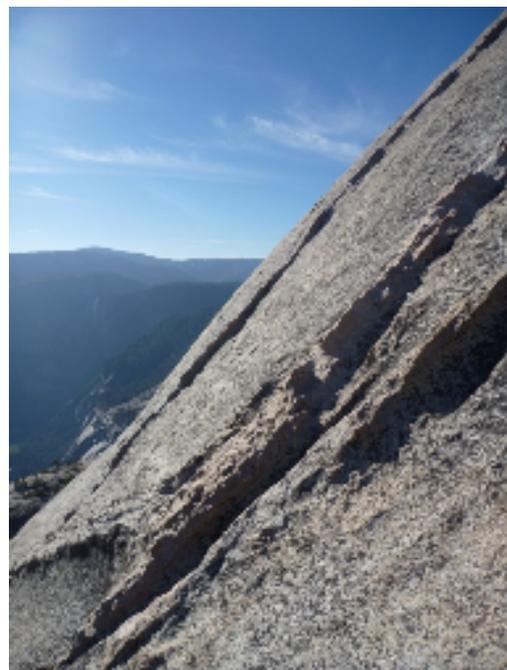
しかし…

ノーピン (!!)

とてもリスキー…



ダイクも景色も見事!



●5～7 ピッチ目 5.2～5.6 ぐらい。

ダイクとフレーク混じり。

終了点がない。

各ピッチ、ロープいっぱいの50～60mぐらいでビレイできる場所で区切る。

各ピッチ、カムが2つ3つ決められる。

途中標高  
2312m

傾斜も落ちてきて、軽快。

アンカーとしての終了点がないため、自分で終了点を作らなければならない。

ビレイ点で待たされなければ、サクッと行けるのに…

ともかく待ち時間が長すぎる。



7ピッチ終了後、ザイルをほどく。

この時点で、19時ぐらい。

ヘッドランプを使つての登攀にならなくて良かった。

19時30分に日が暮れるので、

「せめて、日が暮れる前に、ピークに立ちたい…！」

という思いから、途中座りこんで休んでいる先行パーティーに

「19:30 サンセット」

を告げ、やっと追い抜く。

登攀も無事終わり  
あとは、山頂まで歩きが…  
日の入り直前！

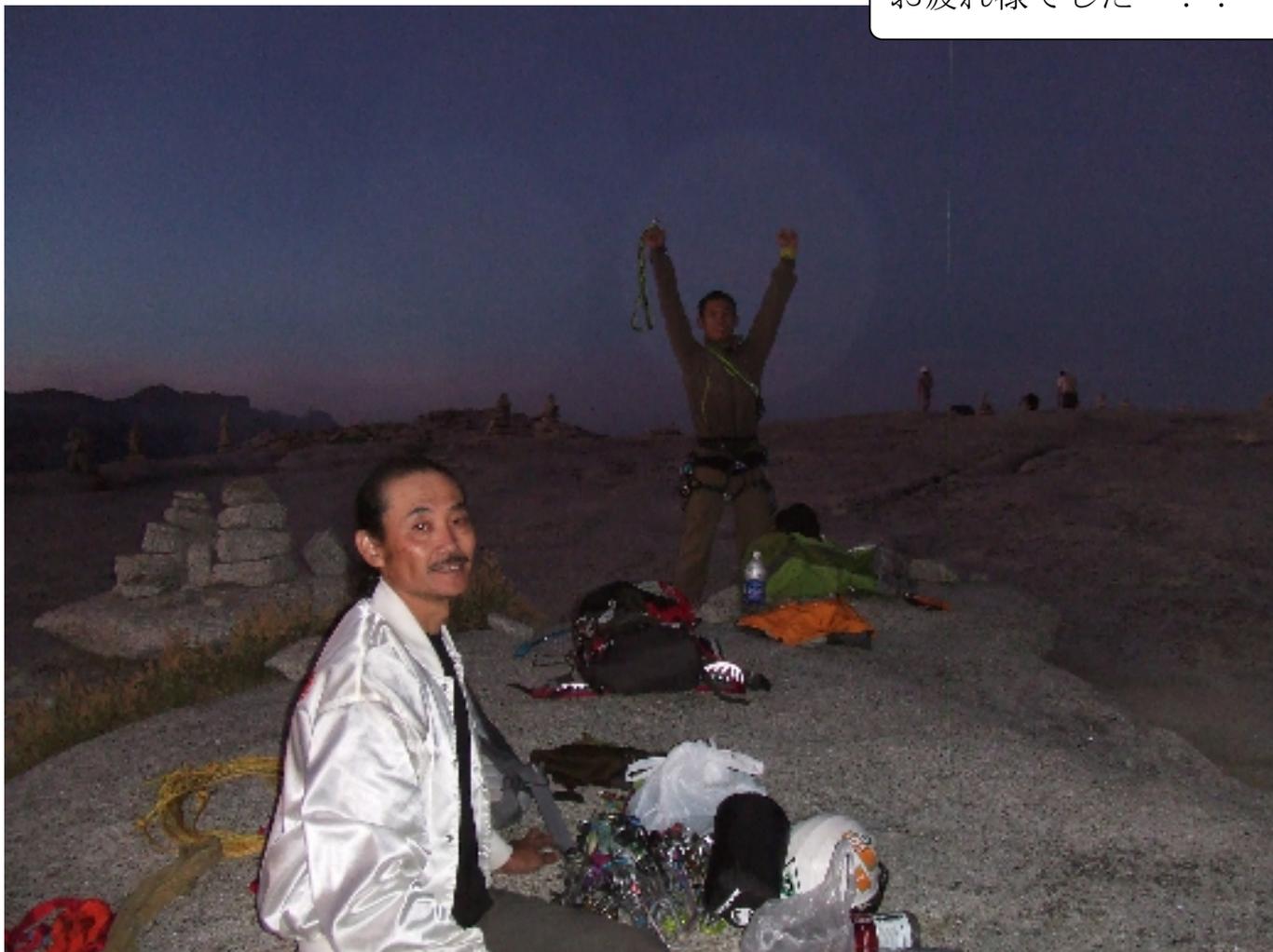


遅くなったから、まさか待っていないと思っていたハイキング組が、出迎えてくれた。

時間は予定より大幅に遅れてしまったけど、

『Team CELLの海外エキシペディション 成功～♪』…とハグ♪

お疲れ様でした～！！



登攀組が山頂に来るまでの間…のハイキング組



13時30分頃 初めてハーネスをつ



けた人を山頂で見る。  
その後しばらくして 2 組目のパーティが来る。  
この人に「スネークダイク」を登ってきたのか確認できた。  
見ている方角があっていることを確認。

15 時 15 分頃 3 組目のパーティ  
ここで、初めて、  
「日本人のパーティいたよ」  
の情報を得る。  
「あと 2 時間ぐらいで攀ってくるよ」



とのこと。

17 時 30 分をまわるも、他のパーティもこない。

何があった？

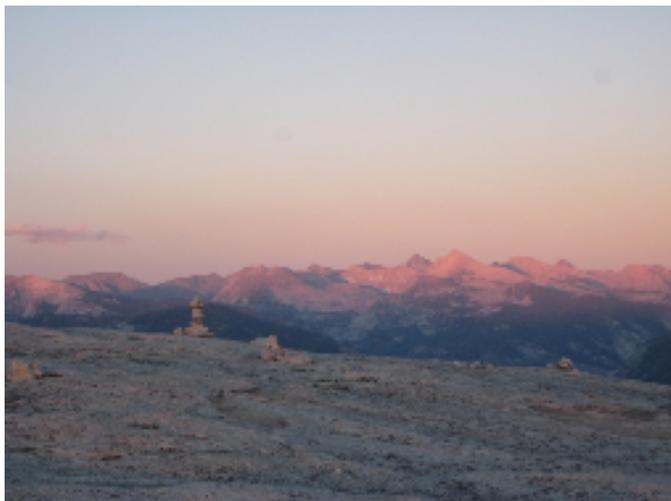
二人に限って、何かあったってことは  
はないはず。

渋滞か？

19 時過ぎ、1 人山頂に到着。(到着早々、  
倒れこんでた。)

情報が得られる！

と思い、



疲れているところ申し訳ないが。。

日本人パーティがいたか確認すると、

「いたよ。攀り終わって歩いてると

ころ」

よかったあ～♪一安心♪

やはり、渋滞していた。。

攀ってきた人数をみて、渋滞も納得…！？

そして 19時20分 無事、山頂で落ち合うことができた♪

あっという間に日が落ちて辺りが暗くなってしまふ。  
登攀組には申し訳ないが、休憩も早々に、帰路へ。

20時ごろ

ワイヤー梯子のところを降り始める。

すでに真っ暗で周りが見えない。  
(見えない分、怖さがなくなって降りやすかったが。。)

ヘッドランプの明りが頼りだが。。

ランプの明りが、なんとも心もとない。

まさか暗くなってからの下山と思ってもみなかったため、登ってきた道をきちんと把握していなかった。(大失敗)

急な石段に辿り着くまでにも、ウロウロ。。

無事石段が見つかり、ゆっくり下山。

石段が終わり、山道に入る。

広場となっている分岐点に来ると、方向がわからない。

暗過ぎて、踏み跡を見つけるのも大変。

何度か、行きつ戻りつを繰り返しながら。。

(星は、とっても綺麗でしたが。。。)

やっとのことで、駐車場に辿り着く。

途中はぐれてしまい…

先陣は5時ごろ駐車場へ到着。

ここで、熊を見かけたらしい。

後陣は、6時ごろ駐車場へ到着。

後陣は、山中で50mあるかないかの距離で…

黒熊の大きいのに遭遇。。。。

音を出して、何とか山の中に戻ってもらった。

1日以上かかってしまったが。。。。

ハーフドーム登攀&ハイク無事終了♪

【9月1日】

朝戻ってきたため…

午前中、睡眠時間～

12時ごろ、みんな起きて行動開始…

いい感じに筋肉痛。

数段の階段を降りるのも、ちょっと一苦労～

シャワー浴びたり片づけしたり。

(シャワーが大変！夕方以降使う人が多いと、お湯が出ない！水修行状態になってしまう。。。早朝と昼間は、暑いお湯が出て、やっと温まれた)

ヨセミテ生活ラストの日。

「せっかくだからボルダリングもしよう。」

ってことに。

その前に…念願の（?!）アイスクリームを購入♪

大きい～。

シングルなのに、日本でのダブルサイズ?!

シングル と ダブル…



ダブルで頼んだのは…  
500ml サイズの量!

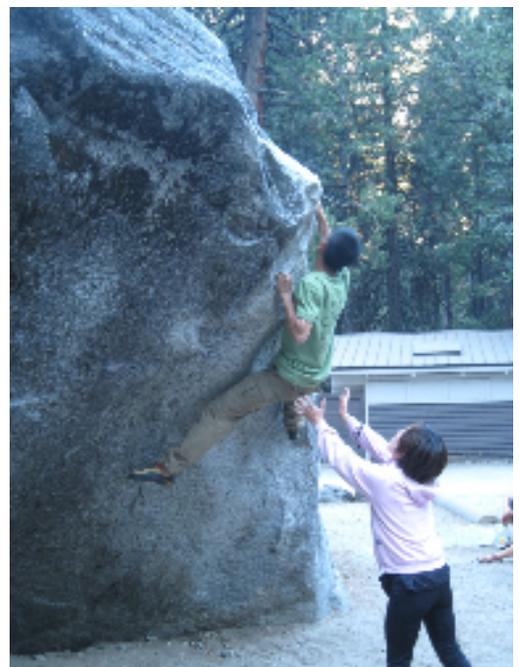
量は多くて食べるの大変だったけど、  
でも、おいしかった～♪

キャンプ4へ。

ミッドナイトライトニング の課題を確認して。  
(触る元気はありません。。)

同じ岩の反対側にある3級を挑戦。。するも、リーチに泣かされる。

皆さんの高身長が羨ましい…



この岩の近くに、易しそうな岩もあり、  
そちらでも戯れる。



登れたよ～



小1時間ぐらい戯れて、キャビンへ戻る。



お夕飯は。。。再び例のビュッフェ。

メニューも少し変っていたし、好きなものを食べて、のんびり～

明日は9時半にビレッジ出発予定で8時に目覚ましをかけて眠る。

【9月2日】

朝食は、残っている、食糧から。

カップラーメンと、ソーセージ。

しっかり満腹♪

予定より早くチェックアウト。

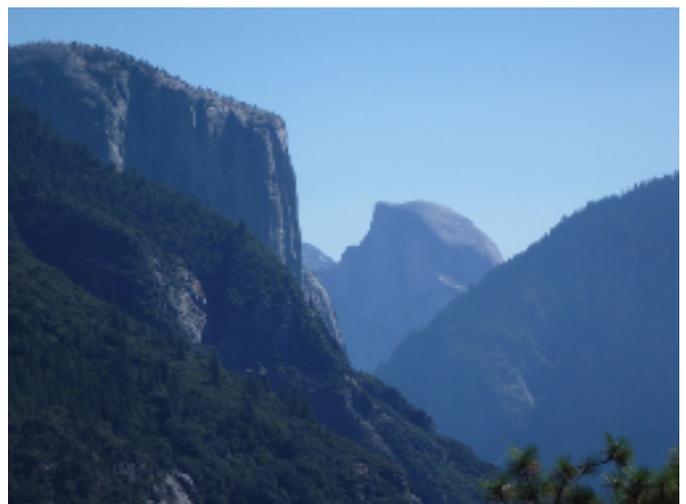


フロント。(熊さんが迎えてくれる。)  
熊さんのそばにある木の入れ物に鍵  
を入れてチェックアウト終了～



ロサンゼルスへ向けて出発。

行きには見ることのできなかつた、見どころ  
ポイントも見れて♪



途中、工事中で片側通行の場面が2か所。

日本と違って、待っている間みんなエンジンを切っている。



外に出てのんびり待っていたり。

日本と時間の流れが違うなー。のんびりした感じがいいなー、

なんて感じる。

フロントガラスの掃除中～  
(総てセルフなのです)

ワオナでガソリン補給。  
ワオナのお店ものぞいてみる。

カレービレッジ・ヨセミテビレッジなどとはまた違った雰囲気。

途中で、長い貨物列車に2度ほど遭遇

2回目の車両が100両。

1回目はおそらく150両。

すごく長かった～。圧巻でした。

途中、ガソリンスタンドへ。

ガソリン補給と、軽いお昼を購入。

特に目立った混雑もなく、無事ロスへ到着。

ダウントウンは、

- ・一方通行
- ・時間帯で左折禁止

などが多くて、運転大変～



リトル東京でホテルを見つけて、無事チェックイン。

19時半を回っていたので、お夕飯に。

近くに、飲食店が数件まとまっているところを見つける。

そこでカレー屋さんに入る。

なぜかカレーを食べたい、と一致(?)。

もちろん…

量は。。。

多いです。

多かったです。

が、完食。おいしかった♪

部屋で残った食料をわけて…

翌日は、朝6時に出発。ということで、寝に入る。

【9月3日】【9月4日】

朝5時起床

6時前にチェックアウト。

駐車場へ。

駐車料金は、早朝出庫だったため、無料に。

Hertzまで、1時間もかからずにつける、

はず…

まずガソリン不足ブザーがなったため、補給。

今度は、ナビの言っている出口がいまいちわからない。

1つ早くフリーウェイから降りてしまって、乗りなおしたり。。

そうこうしているうちに、今度は霧が出てくる。

標識も近くに行かないと見えない状態。

でも、現地の方は慣れてるらしく、平気で140kmとか出して走ってました。。

ちょっと(?)時間はかかったけど、無事Hertzに到着～。

車の返却にも時間がかかるかな？

と思って、早めに出たのだけど、

返却はいたって簡単。

指定された駐車場へ止めて、鍵を渡せば、それでOK。

あっさり終わり送迎バスで、空港へ。

7時半前に空港に着いたため、まだ航空券の受け取りもできず、ちょっと休憩。

8時になって、受付。

荷物も預ける。

日本と違って、トータル重量だけではなく、1個1個の重量を量ってる。  
パスポートと、荷物の名前をチェックして、タグもつけてくれる。  
航空券を受け取って、荷物も預けたところで、朝食に。

各々好きなお店で、食べたい物を買ってきて、食べて～。



持ち主不明の怪しい  
バックがあり、警察が  
きて、近場の人は避難  
させられてた。。



出国ゲートをくぐる前に免税店がいっぱいあった。  
没収されてしまうと思って、購入を控える。

これが失敗。

ロスは、免税店で購入したら、搭乗口で渡してくれることになっていた。

すっかり忘れていた～。

出国ゲートを通って、搭乗ゲートロへ向かうが、お店がほとんどない。

これといって、買わなければならないものもなかったの…

イスに座って爆睡。

11:20 に搭乗手続。

定刻通り 11 : 40 の出発。



大韓航空  
KE002 便



9月4日 15:00 無事成田空港へ到着

入国審査も事無く終わり、荷物もすぐに見つかった。

無事解散

お疲れ様でした♪